



見たり聴いたりするだけじゃない！ 伝統芸能は体験しても楽しめる・・・！



県内で唯一、白木総檜造りの本格的な組立式能舞台を備えたホールという特色から、開館以来毎年「青葉能公演」を開催してきた青葉の森公園芸術文化ホール。一昨年から参加も出来る伝統芸能のかたちの一つとして「千葉県子ども歌舞伎アカデミー」を開設。その他にも伝統芸能をもっと身近に、もっと気軽に感じて頂くため、『楽しむ』『参加する』さまざまな機会をご用意しています。



11/8 創作狂言「鬼の来迎^{らいごう}」と「青少年狂言体験教室」



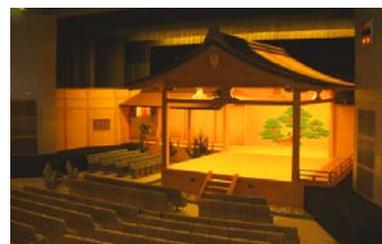
千葉県内に伝わる民話や行事などを取り上げ、オリジナルの狂言を作る「房総発見伝 in 狂言」。今年は横芝光町に伝わる仏教劇「鬼来迎」を題材に、プロの狂言師と8月からのワークショップ参加者で舞台を創っていきます。ワークショップの参加は7月で締め切りでしたが、公演日の11月8日(土)10時30分から、小学生以上20歳までの青少年を対象にした「狂言体験教室」を開催。狂言の動きや発声、笑い方、謡などの稽古を体験することが出来ます。また参加者は午後から行われる「鬼の来迎」でも謡として参加します。「狂言体験教室」参加者は先着順で募集中です！



12/1 迫力ある能舞台の組み立ての様子を公開！

青葉の能舞台は組み立て式のものですが、立派な照り屋根を備えた本格的なもの。それはとても会館スタッフで組み立てられるようなものではなく、毎年公演の数日前に専門の職の方々を招きちょっとした建築現場さながらに能舞台を組み立てて頂くのです。今年は12月1日(月)10時から、その組み立ての様子を一般公開！

見学を希望される方は、事前にホールへお電話でお申込み下さい。
(なお『青葉能公演』は12月7日(日)13時30分からです。)



1/24 琴や尺八、三味線を演奏してみよう！「青少年邦楽体験教室」



普段ほとんど触れる機会のない『和楽器』に直接触れて演奏することが出来る「青少年邦楽体験教室」。簡単そうに見えても、実際やってみると、もしかしたら思うように音が出ず、がっかりすることもあるかもしれませんが、でもその難しさ、奥深さを体感すると、邦楽への興味も倍増することでしょう。なお参加者は先着順で募集します！(小学生以上20歳までの方が対象です。)

他にも今年は去る8月3日に、「青少年日本舞踊体験教室」を実施しました。青葉の森公園芸術文化ホールでは千葉の伝統芸能の拠点として、これからもさまざまな「体験できる」伝統芸能を通じ、古典の芸を守り、育てて行きたいと考えています。

青葉の森公園芸術文化ホール

伝統芸能体験についてのお問い合わせは 043-266-3511 まで！

舞台公演のご案内

9 / 15

日本メキシコ友好400年記念 オペラ『夕鶴』

千葉県文化会館

千葉県少年少女オーケストラの新たな挑戦！ 初めてのオペラ全曲演奏

「オペラ全曲演奏」- 子ども達はいま「歌を理解し、歌に合わせて演奏をする」その重要性和大変さを改めて体感しています。2時間を超える大曲に込められた「日本の心」を最高の演奏でお伝えする為、夏休み返上で練習に励んでいます！

日時: 9月15日(月・祝) 14時開演 料金: 全席自由 3,000円(学生1,000円引)
出演: 指揮/ジェームズ・デムスター 管弦楽/千葉県少年少女オーケストラ
ソプラノ(つう)/エンカルナシオン・バスケス テノール(与ひょう)/アンヘル・ルス 他
お問合せ: 千葉県文化会館 043-222-0201



9 / 28

『ジョン海山ネプチューン コンサート』

青葉の森公園芸術文化ホール

東洋と西洋の融合が織りなすネプチューン・ワールド！



尺八奏者として有名なジョン海山ネプチューン。伝統的な日本の楽器と世界各地の楽器・音楽を融合させた独創的な演奏で皆さんをネプチューン・ワールドに誘います。たった5つの孔しかもたない竹筒から放たれる無限の音色にご期待ください。

日時: 9月28日(日) 14時開演 料金: 全席自由 2,000円
出演: ジョン海山ネプチューン(尺八)、福原佐和子(琴)、門脇京子(琴)、
渡辺正子(十七絃)、納見義徳(パーカッション)、斉藤 恵(パーカッション)
曲目: 忍者、鴨川、大和の曙、交織 ほか
お問合せ: 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

12 / 23

『東総オペラガラコンサート』

千葉県東総文化会館

第九もいっけど、ガラコンもね！

東総地区の今年の年末は、ちょっと趣向を変えて「オペラガラコンサート」をお届けします。オペラといえばたくさんの演目がありますが、その中でも最も親しまれている作品の一つ『カルメン』。「闘牛士の歌」「ハバネラ」など、一度は聞いたことがあることでしょうか。ドン・ホセやカルメンを中心に繰り広げられる恋愛劇。その溢れる情熱を美しい歌声に乗せてお届けします。

日時: 12月23日(火・祝) 14時開演
料金: 全席自由 2,500円
出演: 指揮/小崎雅弘 合唱指揮/秋本 健 ソプラノ/田中樹里 アルト/斎藤佳奈子 テノール/所谷直生 バリトン/清水良一
お問合せ: 千葉県東総文化会館 0479-64-2001



全てのお客様にご満足頂ける施設を目指して その2 「赤十字救急法救急員」

お客様に安全に安心して施設をご利用頂くために、財団では職員に対しさまざまな知識と技術の取得を奨励しています。2回目の今回は「赤十字救急法救急員」をご紹介します。

「赤十字救急法救急員」は日本赤十字社の実施する講習を受講し、試験に合格すると与えられる資格です。3日間の講習では、日常生活における事故の手当や防止、AED(自動体外式除細動器)の使用法と心臓マッサージ、人工呼吸の方法、止血の仕方などを実技として学び、また万が一の災害時に役立つ知識を講義で習得します。

財団では現在11名が「赤十字救急法救急員」の資格を有し、各会館に配属されています。地震や災害のニュースがよく聞かれる昨今、「施設管理」という業務の中だけに留まらない意識をもって、これからも知識と技術の向上に努めていきたいと思っております。

編集後記

以前、ある医療系専門学校の文化祭に出かけたことがあります。AED使用法の講習などをやっていて、私も参加させてもらいました。親切に指導して頂いた上に、後日その時の写真を送って下さったのですが、お礼の手紙の文章に困りました。「どうぞ今後も社会でご活躍下さい。」というのはケガや病気を奨励しているように聞こえますから……。

もちろん「万が一」のことはないに越したことはありません。でもその「万が一」に備えるのも絶対に必要なこと。私もその後「赤十字救急法救急員」の資格を取りました。